

2022年1月27日（木曜）

全労金2022春季生活闘争ニュース・第1号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

「全労金2022春季生活闘争方針」を全会一致で確認！
統一要求課題を含めたすべての要求実現に向けて、闘いを進めよう！

◎1月26日、全労金第75回中央委員会を開催し、全労金方針を確立しました！

全労金は、1月26日（水）、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、都内・森下文化センターをメイン会場に、ZOOMを活用して、第75回中央委員会をWEB開催しました。中央委員会は、全国14単組から34名（男性19名・女性15名）の中央委員と3名のオブザーバー（男性3名）が出席し、執行部も含めた全体では63名（男性40名・女性23名）で開催しました。



《メイン会場（執行部席）》



《各地位で参加する中央委員》

◆末留中央闘争委員長の決意表明

コロナ禍における春季生活闘争は、2年目となった。方針では、統一取り組み、統一要求を掲げている。私たちの要求主旨・要求内容を正確に伝え、組合員との合意形成・認識一致を図る議論と営みが必要だ。

そのうえで、要求内容の組み立て、要求根拠の精査、そして、労使の認識を一致させるための事前交渉・協議を積み上げなければならない。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、濃厚接触者や罹患した場合に単組闘争委員会がどのように対応するのか、様々な議論をし、任務分担や交渉体制を整えていく必要が重要であると認識している。

組合員と一体となった闘争が必要と感じている。オルグも思った通りに進まないこともある。様々な工夫により、体制構築を進めてほしい。

労働運動の原点は職場。世話役活動は、組合員に寄り添うのが労働組合であり、組合員と様々な課題について、深掘して意見交換を進め、労働条件を改善していく、そして、全体のモチベーションを上げていき、その結果、労働金庫業態の持続可能性を高めるものと認識している。

連合は、2022闘争を未来づくり春闘としている。私たちの未来を創っていく、そんな春季生活闘争を進めていきたい。ともに頑張りよう。



◎ 労働運動を進めるうえで、コロナ禍にある現状を「異例の状態」と捉えるのではなく、「通常の状態」として、統一要求を掲げ、基本賃金の改善をめざします！

◎ 「統一取り組み」として、ジェンダー平等を推進し、誰もが働き続けることができる職場環境の実現をめざします！

◎ すべての要求実現向け、全国の仲間と団結し、「みんなの春闘」として、闘い抜きましょう！



《今後の予定》

1月31～2月4日	檄交流の作成 一斉行動期間
2月 7 日	全国書記長会議
22 日	全国統一要求提出日
24～25日	全国一斉職場集会

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！
※全労金が新たに開設したFacebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>) もご覧ください！
※次号は1月31日（月）に発行します！